

再評価結果(平成16年度事業継続箇所)

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名：一般国道329号 石川バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：沖縄総合事務局		
起終点：自：沖縄県金武町字屋嘉 <small>きんちゅうあざやか</small> 至：沖縄県沖縄市後原 <small>おきなわしくしほる</small>	延長：8.2km			
事業概要 一般国道329号は、名護市を起点とし本島東側を南下し那覇市に至る延長約76kmの主要幹線道路である。石川バイパスが縦貫する沖縄本島のほぼ中心に位置する石川市は、近年急激に宅地開発が進み、交通量は増加の一途たどり、特に石川市中心を通る現国道区間では、交差点間隔が100m程度と短いこともあり、朝夕の通勤・通学時及び、夏季観光シーズン、休日・祝祭日等には慢性的な交通渋滞が発生している。石川バイパスは、石川市内の交通渋滞の緩和、幹線道路の機能向上に大きく寄与する道路である。				
S63年度事業化	都市計画決定 不要	H元年度用地着手		
全体事業費	約475億円	事業進捗率		
計画交通量	31,000台/日	96%		
供用済延長	8.2km			
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年 平成15年度
	(残事業)	53/641億円 〔事業費：16/604億円 維持管理費：37/37億円〕	674/2,268億円 〔走行時間短縮便益：686/2,249億円 走行費用減少便益：-18/-15億円 交通事故減少便益：6/34億円〕	
事業の効果等 円滑なモビリティの確保(並行する現道部の渋滞損失時間が削減する) 物流効率化の支援(重要港湾中城湾港へのアクセス向上が見込まれる) 個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上が見込まれる)				
関係する地方公共団体等の意見 石川バイパスの整備により、朝夕の通勤・通学時及び夏季観光シーズン、休日・祝祭日等の交通渋滞の緩和、幹線道路の機能向上が期待されることから、沖縄県道路利用者会議・道路整備促進期成同盟等の団体から整備促進に関する要請を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成15年3月に全線暫定供用				
事業の進捗状況、残事業の内容等 全体事業費での進捗率が96%・用地買収の進捗率は100%である。 平成14年度までに全線暫定供用を行っており、今後は平成16年度に全線完成供用を予定。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年3月に全線暫定供用しており、今後は平成16年度に全線4車化供用を行う。				
施設の構造や工法の変更等 橋梁部の情報ボックスを橋梁添架から歩道埋設に変更すること等でコスト縮減を図る。				
対応方針 ：事業継続				
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
<p>Map details: The map shows the Ishikawa Bypass route (L=8.2km) from Kinokuni (起) to Urasa (終). It highlights the '供用中' (under construction) section in red, which includes a 4-lane section (L=1.0km) and a 2-lane section (L=7.2km). Key locations include Kinokuni, Urasa, and the cities of Kinokuni and Urasa. Landmarks like Akashi Interchange (赤崎交差点) and Higashi Onna Interchange (東恩納交差点) are marked. The map also shows existing roads like National Route 329 and Okinawa Expressway, and a small inset map of Okinawa Prefecture with the project area circled in red.</p>				

